

「災害から命を守るために」

高松市立古高松中学校 3年 木太 美月さん

夏休みの間だけで台風や集中豪雨、それによって起こる土砂災害などで、たくさんの人たちが命を落としてしまいました。

広島で起きた土砂災害のニュースを見た時最初は人数が少なかったのに時間がたつにつれて、死者や行方不明者がふえていました。自分は実際に土砂災害には合っていないけどもし香川県で起きたら、もし自分も災害にまきこまれたら、私にできる事は何か考えました。台風や集中豪雨を止めることはできません。でも、自分の命を守ることはできます。

まずは自分の家のある場所が土砂災害の危険性があるか事前に知ることです。

事前に把握しておくことで大雨が降った時にはやく避難できたり早めに備えることができ、被害にあう人が少なくなります。

それから災害について知っておくことです。

例えば気象庁や各都道府県のホームページで情報を集めて災害の予測をすることです。

他にも流水が異常に濁っていたり山鳴りや地鳴りがするなど、知っていれば予測ができます。

避難する時も外の方が危ない時もあるので事前に確認することが大切です。近所に住んでいる人にも呼びかけてあげるなど、小さな事だけど、それだけで命を落としてしまう人が減ると思います。私たちがしなければいけない事とは、自分は被害に合っていないから大丈夫だ。と思うのではなく、いつ災害が起きても命を守れるように早めに備えておくことです。

次に私が考えたことは、なぜ災害が起こるのかです。

特に今年は大きな台風や洪水になるぐらいの激しい雨が降りました。雨があまり降らずに、よく水不足になる香川県も今年はとても雨が降りました。

異常気象が起こる原因は人間にあると思います。人間が空気を汚し、地球温暖化になっています。地球温暖化によって北極がなくなっていたり、夏にすごく暑い日が続いたり、大雨などの異常気象が起こっていると思います。

地球は七十パーセントが海です。その大きな海が地球温暖化によって温められ、水蒸気となって空へのぼります。それが大きい積乱雲となりたくさんの雨を降らしているそうです。

結果、災害が起きるのは私たちの暮らしと関係しています。来年や再来年、十年後、二十年後にはもっと地球温暖化が進んでいるかもしれません。災害を減らすために、ゴミの分別をする、電気をつかいすぎない、クーラーの温度を下げすぎない、車ばかり使わない、木を使いすぎないなど、小さなことを少しずつしていけば、地球温暖化を防ぐことができます。

もし私が災害にあったら、私の家族が災害にあった時、テレビで見たようにすごく悲しみます。今はあたり前のように家族とご飯を食べたり、学校で友達に会ったりしているけど、災害はいつ起こるか分かりません。だから私はこれから一日一日を大切にしたいです。

次に私が考えたことは自分は災害から命を守るために行動できているかです。

私は自分の家のある場所にどんな危険があるか調べてみることにしました。

私の家の近くには山がないので、土砂災害の危険性はありません。でも災害は土砂だけではありません。

住んでいる場所が川と川の間なので大雨になった時、川が決壊して家に水が来る可能性もあると思います。それから地震の時です。地面が揺れて土の間から水が出て、液状化現象が起こる可能性があるという事を知りました。夏休みに私の地域で防災訓練がありました。地震が起きた時に逃げる場所や実際に避難してみたりしました。これからは、防災ラジオを一台ずつ配ることが地域で決まったそうです。私はそうやって地域で防災を考えれることはすごいと思います。

普段から、災害にあった時に命を守れるように備えておくことが大切だと知り、今自分にできることをたくさんしていこうと思いました。